**NAGANOピアサポだより**

**第19号**

**発行年月日：２０１8年３月３０日（金）**

発行：長野県ピアサポートネットワーク

事務局：長野県長野市若里７－１－７

長野県社会福祉総合センター２階NPO法人ポプラの会事務局内

発行責任者：代表　大堀 尚美

[Tel: 026-228-3344](Tel:026-228-3344) Fax: 026-224-3777

アドレス： nagano.peer-support@kind.ocn.ne.jp



　　　　　　　　　　　　　　　　　　「　願い　」　　　　　　　　　　代表　大堀 尚美

　先日JRの車掌さんにとても丁寧な対応をして頂き感激しました。東京駅から新幹線に乗り長野に帰路で夜遅く疲れていたので座席に座って辛くなった際、車掌さんがすぐに静かに休める場所へ私を案内してくださいました。ほっとして涙が出て、車掌さんに救われて有難いという思いになりました。鉄道会社の方々も乗客の安心と安全の為に働いてくださる感謝の思いを強くしました。

長野県障がい者の地域交通網を考える会では長年、運賃割引に取り組んできました。JR他公共交通機関各社にも精神障がいのある人に運賃割引を実現して頂きたいです。精神障がいのある人への「公の差別」であると考えます。昨年は九州の西鉄、今年は札幌市内の地下鉄でも精神保健福祉手帳の割引が実現しました。長年の運動の努力が実を結んだのです。

私達も6月にJR長野支社に運賃割引の交渉に行きます。私たちの願いを実現するために運動してまいりましょう。

**長野県ピアサポートネットワーク　今年度を振り返って**

　　　　　　　　　　　　ピアサポートネットワーク今年度の振り返り　　　　　　　　　　　　　Y.H.氏

　今年度の振り返りで比重が大きい物は10月25日に行われたピアサポート研修です。きょうされん専務理事の藤井克徳氏に「障害者権利条約と障がいのある私たちの暮らし」というテーマでご講演をしていただきました。その後ファシリテーターとしてパネルディスカッションをリードしていただきました。パネルディスカッションではピアサポーターとして活動している5名の方が登壇されました。活動の内容を広めていく良い機会だったと考えます。

　ここで気になった意見は「医療現場ではピアサポートはあまり身近な物では無い。病院にピアサポートという風穴を開けたい」というひとりのパネリストの声でした。パネルディスカッションを通して皆が思ったことは、当事者が発信していかなければいけないということだと考えます。

　藤井さんが最後におっしゃった「集まろう」「繋がろう」「伝えよう」「動こう」「続けよう」の言葉を胸に刻み私たちは今後もピアサポートという活動を進めて行こうと思うのでした。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ピアサポート研修に参加して　　　　　　　　　　　　　　H.M氏

私が一番心に残っているのは、平成29年10月25日に開催されたピアサポート研修です。「障害者権利条約と障がいのある私たちの暮らし」というテーマで藤井克徳氏の講演をお聴きしました。藤井氏は障害者権利条約をわかりやすく説明して下さり、特に「第十七条、個人をそのままの状態で保護すること　全ての障害者は、他の者との平等を基礎として、その心身がそのままの状態で尊重される権利を有する。」が一番好きな条文とおっしゃっていました。「そのままの自分でいいんですよ。」とおしゃっていただき、私は勇気をいただきました。なんて素晴らしい条約なんだろうと思いました。そして、３匹の蛙のお話をしていただきました。３匹の蛙がミルクタンクの中に落ちてしまいました。１匹目はもうダメだとあきらめて死んでしまいました。２匹目はなんとかなるさと思っていたら死んでしまいました。３匹目は動いて動いて手足を動かしたら、バターができて助かったというお話しです。「運動は何かを変える。人の心を動かす。運動は裏切らない。」という言葉が一番印象に残っています。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　今年度の振り返り　　　　　ハートラインまつもと　　石田 勝氏

　私は長野県ピアサポートネットワークに入会してからまだそんなに経っていません。たぁくらたあ（社会問題を扱う雑誌）の記事に載せて頂いたり、パネリストをさせて頂いたり病院訪問や研修会などで話をさせてもらいました。

こうして振り返ると皆さんにお誘い頂いて、私なりに成長することができました。

　私は目的に向けて決心するのが苦手です。役員会で出席していても、自分から進んで皆様と共に造り上げて行く大事な御仕事なのにもやもやとして緊張したり人の話を聞いてなかったりもします。それでも大堀さんと山本さんから教わった課題「人としての尊厳と、地域で暮らせる事」は私の身をもって感じたので、感謝の心を忘れず少しでも多くの人に伝えたいと思います。今年は、たぁくらたあの編集の戸﨑さんがおっしゃっていた温度差（障がいのある人と障がいの無い人の温度差）について多様性の中に生じている差別について考え学びたいと思います。